

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立小川小中学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	項目別三者比較によると、どの項目も、概ね肯定的な評価であった。しかし、来年度温然と取組を継続してしまうと、取組自体が形骸化してしまうであろう。目標をしっかりと定め、目標に沿って絶えず取組を振り返り修正していくことで、さらに学校教育目標が達成されることにつながると考える。特に、子どもたちの健やかな成長のための食育として、「朝食喫食率100%」は絶対に達成したい項目である。担当だけに留めず、学校全体として有機的に取り組んでいきたい。
------------------	--

2 学校教育目標	自立・貢献 ～ 未来へはばたく子どもたち ～
----------	---------------------------

3 本年度の重点目標	(1) 児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな学級経営の実践 (2) 確かな学力の育成と進路保障 (3) 児童生徒の問題発見・解決能力を育成し、自分の意見を積極的に表現できる児童生徒の育成 (4) 島を愛し、島の文化を大切に育む心身の育成 (5) 業務内容の見直しを通じ、やりがいと魅力のある職場環境の創造
------------	--

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ○地域について学ぶ授業や地域との交流活動計画し、郷土愛を育てる。 ○離島の学校との交流活動計画し、親睦を深める。	○道徳アンケートや人権集会などのアンケートに、自分の思いや考えを書けた児童生徒100% ○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教師80%以上 ○アンケートにより、小川島の良いところや課題について、90%以上の児童生徒が記述することができる。 ○アンケートにより、近隣の島の良いところや課題について、80%以上の児童生徒が記述することができる。	・道徳や人権集会に関するアンケート、心の健康アンケートの実施 ・道徳科の授業づくりや評価に関する小中中部会等の実施 ・いじめの認知・発覚に対する対応マニュアルを全職員で共有し、必要に応じて見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に2回以上行う。 ・島ならではの行事や島の方々と交流活動等を年間計画に組み入れ、担当者を明確にしておく。 ・地域と関連させた学習活動を通して、地域の課題について知り、その解決策等を考えさせる。 ・交流のある島と学校同学年合同授業を行う。							
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ○基本的な生活習慣の育成	●「健康であるためには、まず食事が大切である」と考える児童生徒85%以上 ○朝食をとって登校する児童生徒100% ○自分に適した生活リズム(睡眠を含む)を知り、快適な生活を送ることができるような習慣を実行する児童生徒80%以上	・生活状況調査、食に関する意識調査の実施(児童生徒と保護者対象に) ・保健だよりの発行(本校の健康課題を中心にした内容) ・睡眠の大切さを知らせ、その「質」「量」を年間を通して身に付けさせる。 ・基本的な生活習慣の一つとしての快適な排便の重要性を知らせ、自らの健康を排便によって判断できるようにする。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 ○長期休業中を中心に、年休の取得を促進	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○夏季休業中に、5日以上年休を取得した教職員が80%以上 ・年間10日以上年休を取得した教職員が80%以上	・小中連携による部活動・社会体育の実施 ・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定 ・業務の優先順位設定の推奨 ・日ごろから年休を取得しやすい職員室の雰囲気を作る。 ・長期休業中は、年休を平均で4日以上取得する。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○児童生徒のキャリア観の育成	○キャリア教育における汎用的能力である問題発見・解決能力及び表現力の向上に努め、自らの意思をしっかりと伝えられる児童生徒を育成する。	○自ら設定した課題について、その考察や意見等を分かりやすく、伝えることができた児童生徒70%以上。	・スピーチタイムやスピーチ交流会をはじめ、全ての教科、学校行事を通して、夢や目標について自ら考えさせたり発表させたりする時間や場面を設ける。							
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員80%以上	・全職員向けに特別支援教育に関する研修会を実施する。 ・生徒指導協議会等すべての児童生徒について共通理解を図る。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--